



2025年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年10月9日

上場会社名 日本BS放送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9414 URL https://www.bs11.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 近藤 和行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 松友 大輔 (TEL) 03 (3518) 1900
 定時株主総会開催予定日 2025年11月19日 配当支払開始予定日 2025年11月20日
 有価証券報告書提出予定日 2025年11月18日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期の連結業績 (2024年9月1日~2025年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期	11,812	△3.5	1,932	△7.3	1,985	△5.3	1,345	△7.6
2024年8月期	12,241	△1.4	2,083	5.0	2,097	4.1	1,455	5.0

(注) 包括利益 2025年8月期 1,345百万円 (△7.5%) 2024年8月期 1,455百万円 (5.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年8月期	75.51	75.37	5.6	7.5	16.4
2024年8月期	81.70	81.61	6.3	8.3	17.0

(参考) 持分法投資損益 2025年8月期 ー百万円 2024年8月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年8月期	26,898	24,426	90.7	1,369.07
2024年8月期	25,894	23,598	91.1	1,323.54

(参考) 自己資本 2025年8月期 24,392百万円 2024年8月期 23,581百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年8月期	1,828	△4,536	△455	2,988
2024年8月期	2,468	△9,351	△564	6,152

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年8月期	ー	0.00	ー	30.00	30.00	534	36.7	2.3
2025年8月期	ー	0.00	ー	30.00	30.00	534	39.7	2.2
2026年8月期(予想)	ー	0.00	ー	30.00	30.00		40.9	

3. 2026年8月期の連結業績予想 (2025年9月1日~2026年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,079	3.2	830	△28.4	858	△26.9	576	△28.2	32.33
通期	12,576	6.5	1,804	△6.6	1,888	△4.9	1,306	△2.9	73.30

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年8月期	17,816,932株	2024年8月期	17,816,932株
② 期末自己株式数	2025年8月期	237株	2024年8月期	237株
③ 期中平均株式数	2025年8月期	17,816,695株	2024年8月期	17,815,179株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(連結キャッシュ・フロー計算書関係)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかに景気回復しております。先行きについては、円安による物価上昇を背景とした個人消費の伸び悩みや米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響による景気の下振れリスク等に引き続き、十分注視する必要があります。

当社を取り巻くBSデジタル放送業界は、動画配信サービス市場の拡大等で、ビジネスの機会が拡大する等、環境が大きく変化している中、テレビメディア広告費は、1兆7,605億円（前年比101.5%）となり、そのうち当社を含む衛星放送メディア関連の広告費は、1,254億円（前年比100.2%）となっております。（「2024年 日本の広告費」(株)電通調べ）

このような状況下、当社は「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え 幸せな社会づくりに貢献します」を経営理念として中長期的な成長を実現するため、重点施策「Value（バリュー）4」を掲げ、引き続き、「コンテンツ価値の向上」、「『稼ぐ力』の再構築」、「放送周辺事業の強化・発展」、「企業価値向上のための戦略的投資」をテーマに、放送事業に加え、その他の様々な施策に取り組みました。

[放送事業収入]

当連結会計年度の放送事業収入は、10,193,279千円（前期比3.2%減少）となりました。

タイム収入は、競馬中継等の公営競技が引き続き好調に推移したほか、下期にかけて持込番組のセールスが好調となりましたが、前年に放送した、野球やサッカー等の大型スポーツ特番の反動減が大きく、前期比減収となりました。スポット収入は、市況低迷が続く中、日中帯を中心としたドラマコンテンツの編成戦略の強化に努めたことにより、復調の気配はあるものの、前期比減収となりました。

番組施策では、2024年10月より歌謡&トーク番組『鶴瓶のええ歌やなあ』、2025年4月より本格園芸番組『黒谷友香、お庭づくります』の放送をそれぞれ開始いたしました。両番組ともBS視聴者層のニーズにマッチした番組として、放送終了後の見逃し配信と合わせて多くの視聴者の方に好評をいただいております。また、特別番組では、タレントのじゅんいちダビッドソンさんがダム湖の魅力を味わい尽くす『ダム湖で遊ばーぜ!』や、一人称視点の映像で展開される新感覚グルメドラマ『やきとり食べたい』等、BSらしいニッチなニーズを追求した番組の企画・制作にも積極的に取り組んでまいりました。

ドラマコンテンツでは、日中帯を中心に、コンセプトの見直しを行い、中国時代劇『灼灼風流～宮中に咲く愛の華～』や韓国ドラマ『三番目の結婚』等、BS視聴者層により人気のあるコンテンツの編成に取り組んだほか、ヨーロッパミステリー『名探偵ポワロ』や日本初放送の中国ドラマ『テレサ・テン 歌姫を愛した人々』等、話題性の高い大型ドラマコンテンツの編成も実施いたしました。

更に、「ANIME+」枠では、引き続き今期も製作委員会参画作品を含むアニメ関連番組約40タイトルの放送を毎クール行い、アニメソング番組『Anison Days』や、2025年10月で番組放送10周年となるエンターテインメント情報番組『アニゲー☆イレブン!』等、話題のアニメ作品の放送に加え、幅広いファンのニーズにお応えできるよう様々な切り口によるアニメ関連番組の放送も行いました。

[その他事業収入]

その他事業収入は、1,619,424千円（前期比5.3%減少）となりました。子会社において、出版書籍が課題図書に選出されたことを受けて売上が好調に推移した前期からの反動減が見られたことにより、前期比減収となりました。他方、配信コンテンツのラインアップ強化や、当社独自のオリジナル動画配信サイトBS11+の会員プランの拡充等により配信事業収入が好調に推移したほか、『WEEKLYワールドサッカー Supported by U-NEXT ～プレミア/ラ・リーガ ダイジェスト～』のアフタートークコンテンツ「ちょっと話したりない」の公開収録や、声優の石見舞菜香さんと長谷川育美さんによる配信オリジナルコンテンツ「ふたりば」の限定イベント、「貴公子たちの音楽会vol.5」や「若手人気スター歌謡ショー」等、放送や配信、イベントを起点としてコンテンツを多面的に展開する、マルチユースの取組みを推進する等、新たな収益機会の創出や拡大にも努めてまいりました。

【費用】

原価部門では、新規レギュラー番組をはじめとしたコンテンツの拡充や日中帯を中心としたドラマコンテンツの強化を積極的に行いましたが、番組制作費の反動減や、2023年4月に実施した当社スタジオ設備更新にかかる減価償却負担の軽減等の影響が大きく、費用減となりました。一方、販管部門では、下期にかけて、更なる番組認知・局認知の拡大を目的として、BS視聴者メインターゲット層に親和性の高い新聞広告を中心とした広告出稿を積極的に実施した結果、広告宣伝費を中心に費用増となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は 11,812,703千円（前期比 3.5%減少）となりました。営業利益は 1,932,011千円（前期比 7.3%減少）、経常利益は 1,985,394千円（前期比 5.3%減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は 1,345,307千円（前期比 7.6%減少）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 1,003,927千円増加し、26,898,356千円（前連結会計年度末比 3.9%増加）となりました。主な要因は、現金及び預金が 163,690千円、固定資産の減価償却が進み、有形固定資産が 414,650千円 とそれぞれ減少したものの、有価証券が 299,918千円、棚卸資産が 87,747千円、投資有価証券が 1,200,840千円増加したこと等によるものであります。

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ 176,648千円増加し、2,472,170千円（前連結会計年度末比 7.7%増加）となりました。主な要因は、流動負債のその他に含めて表示している未払消費税が 122,287千円減少したものの、買掛金が 130,446千円、短期借入金が 80,000千円、未払金が 36,042千円、賞与引当金が 47,540千円増加したこと等によるものであります。

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ 827,279千円増加し、24,426,185千円（前連結会計年度末比 3.5%増加）となりました。主な要因は、利益剰余金が、前連結会計年度の期末配当 534,500千円により減少したものの、親会社株主に帰属する当期純利益 1,345,307千円の計上に伴い 810,806千円増加したこと等によるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ 3,163,690千円減少し、当連結会計年度末には 2,988,777千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、1,828,966千円（前期は 2,468,837千円の獲得）となりました。これは主に、法人税等の支払額 681,344千円があったものの、税金等調整前当期純利益 1,985,394千円の計上等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、4,536,755千円（前期は 9,351,860千円の使用）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出 3,000,000千円、投資有価証券の取得による支出 1,498,073千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、455,900千円（前期は 564,426千円の使用）となりました。これは主に、短期借入れによる収入 140,000千円があったものの、短期借入金の返済による支出 60,000千円、配当金の支払額 534,310千円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2024年8月期	2025年8月期
自己資本比率 (%)	91.1	90.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	61.2	61.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	0.2	4.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	4,459.1	7,387.4

自己資本比率:自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率:株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率:有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ:キャッシュ・フロー/利払い

- (注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により算定しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式を除く）により算出しております。
3. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を利用しております。
4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。
5. 利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。

(4) 今後の見通し

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかに景気回復しております。先行きについては、円安による物価上昇を背景とした個人消費の伸び悩みや米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響による景気の下振れリスク等に引き続き、十分注視する必要があります。

次期の見通しにつきましては、このような環境下、良質な番組制作と営業の強化、効果的な広告宣伝に努めることで、テレビ広告収入の増加、配信事業やイベント事業といった放送周辺事業収入の拡大を図ってまいります。一方、費用面では、視聴者の皆様に喜んでいただける魅力的な番組づくりと番組編成を行いながら番組関連費用の効果的な使用とその他の費用の削減に努めることで費用効率を更に高めてまいります。

以上により、2026年8月期の連結業績予想は、売上高125億76百万円（前連結会計年度比6.5%増）、営業利益18億4百万円（同6.6%減）、経常利益18億8千8百万円（同4.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益13億6百万円（同2.9%減）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当連結会計年度 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,152,467	13,988,777
受取手形及び売掛金	2,230,431	2,189,774
有価証券	—	299,918
棚卸資産	528,656	616,404
その他	130,028	128,466
流動資産合計	17,041,584	17,223,341
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,120,807	2,016,096
機械及び装置（純額）	858,614	555,314
土地	4,034,756	4,034,756
建設仮勘定	—	9,130
その他（純額）	74,390	58,622
有形固定資産合計	7,088,569	6,673,919
無形固定資産	50,933	34,500
投資その他の資産		
投資有価証券	1,414,517	2,615,358
繰延税金資産	207,058	249,623
差入保証金	27,060	27,060
その他	64,705	74,553
投資その他の資産合計	1,713,341	2,966,595
固定資産合計	8,852,844	9,675,015
資産合計	25,894,429	26,898,356

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当連結会計年度 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	793,066	923,513
短期借入金	—	80,000
未払金	320,109	356,152
未払費用	204,408	198,371
未払法人税等	391,048	385,229
賞与引当金	30,000	77,540
その他	428,345	321,972
流動負債合計	2,166,979	2,342,777
固定負債		
退職給付に係る負債	107,332	109,772
その他	21,211	19,620
固定負債合計	128,543	129,392
負債合計	2,295,522	2,472,170
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,190,714	4,190,714
資本剰余金	3,524,504	3,524,504
利益剰余金	15,865,996	16,676,803
自己株式	△234	△234
株主資本合計	23,580,980	24,391,787
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69	543
その他の包括利益累計額合計	69	543
新株予約権	17,856	33,855
純資産合計	23,598,906	24,426,185
負債純資産合計	25,894,429	26,898,356

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
売上高	12,241,507	11,812,703
売上原価	6,469,166	6,184,024
売上総利益	5,772,340	5,628,679
販売費及び一般管理費	3,688,739	3,696,667
営業利益	2,083,601	1,932,011
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,005	39,706
受取派遣料	1,200	8,200
その他	7,380	5,762
営業外収益合計	14,586	53,668
営業外費用		
支払利息	553	247
その他	76	37
営業外費用合計	630	285
経常利益	2,097,557	1,985,394
税金等調整前当期純利益	2,097,557	1,985,394
法人税、住民税及び事業税	660,624	682,871
法人税等調整額	△18,587	△42,784
法人税等合計	642,037	640,086
当期純利益	1,455,519	1,345,307
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,455,519	1,345,307

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
当期純利益	1,455,519	1,345,307
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	473
その他の包括利益合計	69	473
包括利益	1,455,588	1,345,781
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,455,588	1,345,781
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,186,990	3,520,780	14,873,521	△234	22,581,057
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	3,724	3,724			7,448
剰余金の配当			△463,044		△463,044
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,455,519		1,455,519
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	3,724	3,724	992,475	—	999,923
当期末残高	4,190,714	3,524,504	15,865,996	△234	23,580,980

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	—	—	25,297	22,606,354
当期変動額				
新株の発行 (新株予約権の行使)				7,448
剰余金の配当				△463,044
親会社株主に帰属する 当期純利益				1,455,519
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	69	69	△7,440	△7,371
当期変動額合計	69	69	△7,440	992,551
当期末残高	69	69	17,856	23,598,906

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,190,714	3,524,504	15,865,996	△234	23,580,980
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)					—
剰余金の配当			△534,500		△534,500
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,345,307		1,345,307
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	810,806	—	810,806
当期末残高	4,190,714	3,524,504	16,676,803	△234	24,391,787

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	69	69	17,856	23,598,906
当期変動額				
新株の発行 (新株予約権の行使)				—
剰余金の配当				△534,500
親会社株主に帰属する 当期純利益				1,345,307
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	473	473	15,998	16,472
当期変動額合計	473	473	15,998	827,279
当期末残高	543	543	33,855	24,426,185

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,097,557	1,985,394
減価償却費	606,035	473,594
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	47,540
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,457	2,440
受取利息及び受取配当金	△6,005	△39,706
支払利息	553	247
売上債権の増減額 (△は増加)	94,591	40,657
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,227	△87,747
仕入債務の増減額 (△は減少)	96,324	130,446
未払金の増減額 (△は減少)	△153,693	28,059
未払費用の増減額 (△は減少)	△3,255	△6,037
未払消費税等の増減額 (△は減少)	207,506	△122,287
その他	78,993	23,530
小計	3,014,924	2,476,131
利息及び配当金の受取額	4,925	34,426
利息の支払額	△553	△247
法人税等の支払額	△550,458	△681,344
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,468,837	1,828,966
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8,000,000	△3,000,000
有形固定資産の取得による支出	△32,761	△28,840
無形固定資産の取得による支出	△9,344	△1,596
投資有価証券の取得による支出	△1,309,428	△1,498,073
保険積立金の解約による収入	8,948	5,081
その他	△9,274	△13,328
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,351,860	△4,536,755
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	140,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△60,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,590	△1,590
配当金の支払額	△462,843	△534,310
その他	7	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△564,426	△455,900
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,447,449	△3,163,690
現金及び現金同等物の期首残高	13,599,917	6,152,467
現金及び現金同等物の期末残高	※ 6,152,467	※ 2,988,777

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
現金及び預金	14,152,467千円	13,988,777千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△8,000,000千円	△11,000,000千円
現金及び現金同等物	6,152,467千円	2,988,777千円

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループには、BSデジタル放送事業以外の重要なセグメントがないため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり純資産額	1,323円54銭	1,369円07銭
1株当たり当期純利益	81円70銭	75円51銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	81円61銭	75円37銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
(1) 1株当たり当期純利益	81円70銭	75円51銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,455,519	1,345,307
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,455,519	1,345,307
普通株式の期中平均株式数(株)	17,815,179	17,816,695
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益	81円61銭	75円37銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	19,095	32,893
(うち新株予約権(株))	(19,095)	(32,893)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。